

こうほく町



ふれあいネットワーク

Vol.116
9月号

社協だより

編集・発行 社会福祉法人 江北町社会福祉協議会

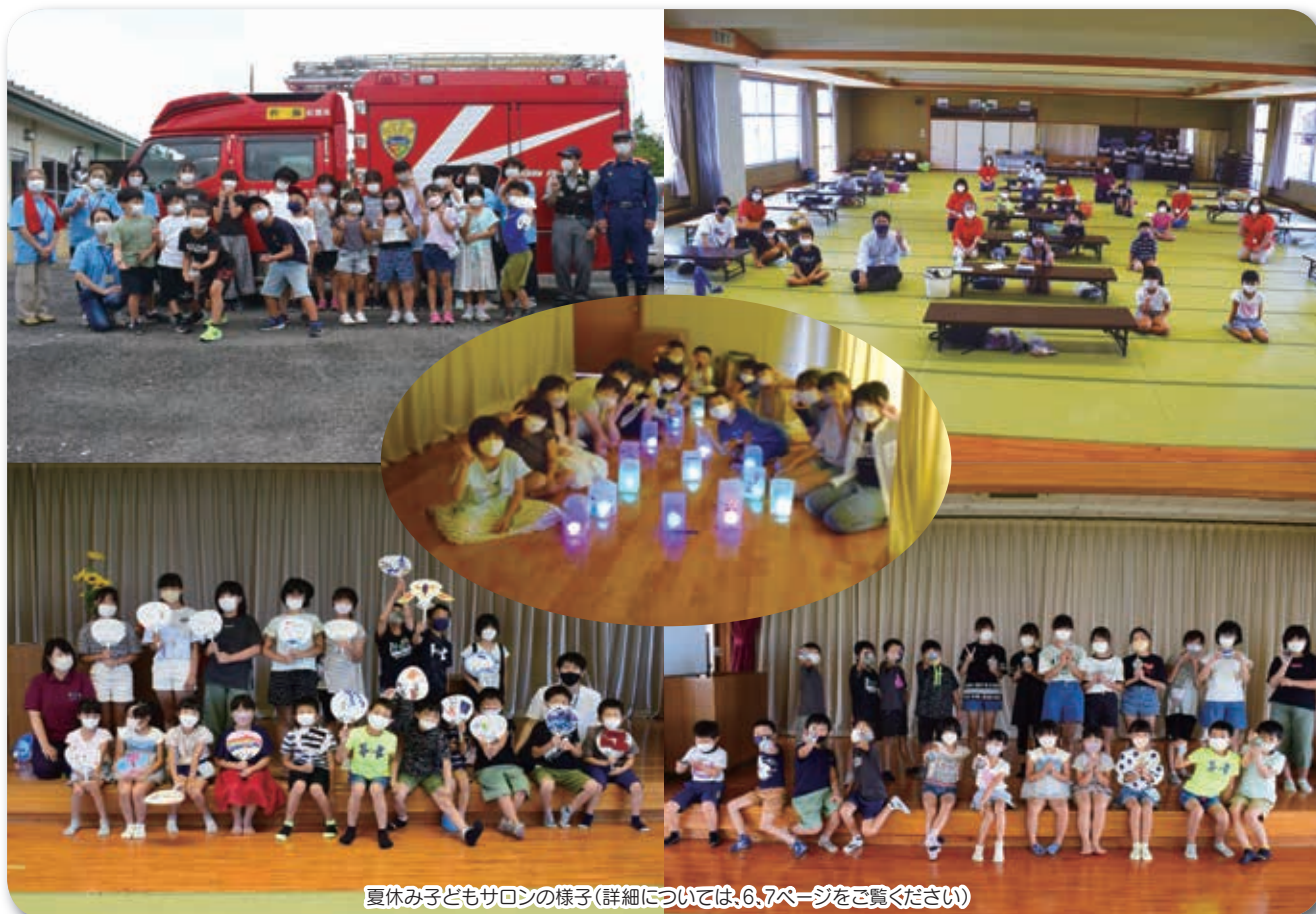
〒849-0501

佐賀県杵島郡江北町大字山口2637番7

TEL 0952 (86) 4317 FAX 0952 (86) 3845

E-Mailアドレス kohoku-s@po.saganet.ne.jp

HPアドレス <http://kouhoku-syakyo.com/>



夏休み子どもサロンの様子(詳細については、6,7ページをご覧ください)

CONTENTS

- 夏休み子どもサロンの様子(写真) 表紙
- 第7回 こうほくこども食堂を女性ネットワークの会と共催しました。(写真)
- 第7回 こうほくこども食堂を開催しました。 ②
- 第14回 はばたけ!ボランティアin伊万里に参加しました。 ③
- 福祉のまちづくり講演会を実施しました。 ④
- 町内サロンに参加してきました。 ⑤
- 子育て支援グループ「ちょうちょ」と共同で
夏休み子どもサロンを開催しました。 ⑥～⑦
- ご寄付お礼 ⑧
日本赤十字社会費のお礼
老人福祉センターのお花の植え替えをしていただきました。



こうほくこども食堂を開催しました。
(詳細については、2ページをご覧ください。)

第7回 こうほくこども食堂を開催しました。～みんなの公園～

5月14日(土)



5月14日(土)にみんなの公園にて、江北町女性ネットワークの会による「第7回こうほくこども食堂」の開催をしました。

このイベントは、幼い子どもから高齢者まで、地域のだれもが立ち寄れる居場所作りや新型コロナウイルス感染症の影響で地域のコミュニティの希薄化や孤立が問題となる中で「食」をきっかけに解消したいと思い、女性ネットワークの会を中心に企画されました。

開催に当たっては、江北町社会福祉協議会が協賛となり、江北町の生産者より竹の子やそうめん、JA杵島支所よりお米を提供して頂きました。

また、新型コロナウイルスの感染対策として、入場時の消毒や検温を行い、密にならないように屋外での開催としました。

当日は、多くの家族連れが参加し、ちらしずしやすまし汁、ゼリーが振る舞われ、子ども達が地域との交流を深めることが出来ました。

今年度は合計4回のこうほくこども食堂を計画しています。今回参加できなかった方は次回参加されてみてはどうでしょうか。



第14回 はばたけ!ボランティアin伊万里に参加しました。

5月10日(火)



佐賀県内でボランティア活動に取り組む方の研修会「はばたけ! ボランティアin伊万里」が伊万里市民センターで開催され、江北町ボランティア連絡協議会の役員4名と参加してきました。

当日は、県内のボランティア活動者やボランティアに興味がある方、福祉関係者の約150人が参加し、地域社会で求められる役割や課題を考えました。

研修会のはじめにオープニングアトラクションとして秋鼓会による伊万里トントンまつりのデモンストレーションがありました。神輿のサイズは4分の1サイズでの模擬合戦でしたが、大変迫力があり、感動しました。

活動発表として、伊万里地区認知症の人と家族の会（通称：ひまわり会）代表黒川憲一氏による発表がありました。同会は平成11年2月に設立されており、当時は「痴呆症」と呼ばれていた認知症の老人を抱えた16家族が集い、励まし合いからスタートし、社会の理解を深める取り組みへと活動を広げられています。発表の中では、「認知症になっても安心して暮らせる街づくりを行うには多くの人の助けが必要」と言われ、お互いに支え合う仕組みが必要と提案されました。

研修会では、講演会の開催もあり、西九州大学健康福祉学部社会福祉学科准教授の岡部由紀夫氏を講師にむかえ、「今、ボランティアに求められていること～コロナ禍を経験して変わったこと、変わらないこと～」をテーマとして、自身がボランティアを行ってきた経験を活かし、コロナ禍に学んだボランティア活動の取り組み方などについて説明され、ボランティア活動について学びを深めました。

研修会は、新型コロナウイルスの影響で中止になっていた為、3年ぶりの開催となりましたが、ボランティア活動のあり方について、再度考えることができ、大変有意義な研修会となりました。



福祉のまちづくり講演会を実施しました。

6月16日(木)

令和4年6月16日(木)に、江北町老人福祉センターにて江北町の各ボランティア団体を対象に福祉のまちづくり講演会を実施しました。

例年は、江北町ボランティア連絡協議会の会員を対象として、たくさんの会員を呼び講演会を実施していましたが、今回は、コロナウイルスの感染対策として、参加対象者を役員に限定して行いました。

講演会は、佐賀県地域づくりネットワーク協議会地域づくりアドバイザーの多良淳二講師の下、「地域づくりと生きがいづくり」をテーマに、また「生きて生かされて恩返し」をサブテーマとして講演を行いました。

講演会では、少子高齢化が進んでいる地域で何ができるのか？など現在、地域が抱えている課題を把握して、問題点の解決策などについて勉強していきました。

多良淳二講師は、解決策として「お互い様の精神が重要になってきますが、持続可能な活動は、ボランティアだけでは続かない、地域活動をコミュニティビジネスとして捉え、働く人には小遣いを出すことも必要である」と言われました。

また、地域の困りごとは、地域で解決を行っていき、高齢者の居場所作りや役割を与えて行く事も重要だと言われました。

講演会の後半では、自身が行って来られたボランティア活動を動画や写真を用いて紹介され、最後には、幸せのキーワードとして「常に感謝して生きることが重要」だと伝えられました。

講演会の後半では、自身が行って来られたボランティア活動を動画や写真を用いて紹介され、最後には、幸せのキーワードとして「常に感謝して生きることが重要」だと伝えられました。

今回の講演会は、各ボランティア団体の活動についてとても考えさせられる講演会となりました。



町内サロンに参加してきました。

下惣サロン(稲穂の会)

7月11日(月)に、下惣サロン(稲穂の会)に参加してきました。

当日は、七夕祭りを実施されており、サロンの皆さんで七夕飾りの作成や体操、ゲームなどを行い、七夕飾りの短冊には、世界平和やコロナの収束、健康に暮らしていきたいなどの願いを書かれるなど楽しませておりました。

参加されていた皆さんは毎月のサロン開催を楽しみにされており、当日のサロンでは皆さん笑顔で楽しく過ごされていました。



ひなげし(原宿区)

7月30日(土)に、原宿区で行われているひなげしのサロンに参加してきました。

ひなげし(原宿区)のサロンでは、体操や歌、絵を書いたりして皆さん楽しませておりました。

また、7月9日(土)に七夕飾りを開催されておりました。

七夕飾りでは、いろんな飾りを作って、大変綺麗に飾付けを行っておられました。

参加者の皆さんは今後も楽しく、サロンに参加していきたいと言われておられました。



子育て支援グループ「ちょうちょ」と共同で 夏休み子どもサロンを開催しました。

令和4年度の夏休み子どもサロンを子育て支援グループ「ちょうちょ」と共同で開催しました。

子どもサロンは夏休みを利用し、第1回目を7月21日(木)、第2回目を7月28日(木)、第3回目を8月4日(木)の合計3回の開催をしました。

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、換気・ソーシャルディスタンス・マスク着用・入場時の検温・健康観察チェックシートなどの感染対策を徹底して開催を致しました。

第1回目の開校式では、江北町社会福祉協議会の大串事務局長より、新型コロナウイルス感染症の感染状況などを話され、「感染対策を徹底し楽しい夏休みにして勉強も遊びも大いに楽しんで下さい」と話され、子育て支援グループ「ちょうちょ」の岸川恵利子代表は、「新型コロナウイルスの感染が拡大していますが、子どもサロンが開催出来たことは、みんなが感染対策を徹底してくれたおかげです。まだ、2回目・3回目も開催予定です。今後もみんなが参加出来るように感染対策を行って楽しい夏休みにしていきましょう」とあいさつが行われました。



第1回夏休み子どもサロン

7月21日(木)に第1回の夏休み子どもサロンを実施し、当日はスタッフ8名、子ども達17名で開催しました。

午前中は開校式終了後、宿題を行い、白石消防署の東島先生より「防災について学ぼう!」をテーマに、災害についての学びを深め、最後には、屋外での消火訓練を行いました。東島先生は「今回は消火訓練なので消火してもらいますが本当の火事の際はとにかく逃げて火が発生した事を近くの大人に知らせて下さい。自分の身は自分で守ってください。」と子ども達と約束をされました。

午後には、体験教室としてランプの作成をしました。

一人一人個性豊かでとてもきれいなランプの作成が出来ました。



第2回夏休み子どもサロン



第2回目の夏休み子どもサロンを7月28日(木)に開催しました。

第2回目の夏休み子どもサロンでは、スタッフ7名、実習生2名、子ども達20名で開催し、宿題や体験教室としてうちわの作製を行いました。

午後からは、江北町の山田恭輔町長との交流会を開催し、町長のお話を聞いた後に質問コーナーを行いました。

質問コーナーでは、町長の好きな色や動物の事から江北町に関わる要望など子ども達が普段疑問に思っていること

を質問していました。

交流会は和やかな雰囲気の中で町長とは直接話す機会が少ない中、今回の交流会は子ども達にとって大変貴重な経験となりました。



第3回夏休み子どもサロン

第3回の夏休み子どもサロンは8月4日(木)に、スタッフ7名、子ども達23名、実習生1名で開催しました。

夏休み子どもサロンの最後となる3回目は、各自宿題や読書をした後にスノードームの作製をしました。子ども達は先生の指示を守り、真剣に作製に取り組んでおり、とてもきれいなスノードームが出来上がっていました。また、当日にはヨガ教室も行われ、とても和やかな雰囲気の中、楽しそうに実施していました。

今回の夏休み子どもサロンは新型コロナウイルス感染症が拡大する中、スタッフの方や子ども達の徹底した感染対策を実施したことにより、開催することが出来ました。コロナ禍により、まだまだ我慢を強いられている子ども達の楽しそうな笑顔を見れたことや普段体験出来ない事を経験出来る事で子ども達の夏休みのいい思い出づくりになったと思います。



ご寄付御礼

皆様より頂きました貴重な浄財は、社会福祉事業に幅広く使っていただいております。次の方々から、社会福祉事業寄付金としていただきました。ありがとうございました。

社会福祉法人 江北町社会福祉協議会 会長 山田 恭輔

町 外		町 内																
山 中	寄付者名																地区名	物故者名
		原田	大串	岸川	碓	佐藤	小林	土井	松下	北出	中島	谷口	今泉	堤	諸岡	土井	柿塚	古賀
克幸様		利治	トミ子	和徳	ツル子	肇	義民	秀子	久子	君隆	充弘	孝直	正明	昭児	敏伸	幸治	アサノ	寄付者名
		様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
横 浜 市	地区名	下	八	土	下	平		東	新		石		石	観	石	上	新	西
		惣	北	元	分	山		区	町		岳		原	音	原	分	宿	分
山 中	物故者名																	
		富	伊	守	秋	武	正	健	孝	チ	満	澄	ト	明	ヨ	コ		穂
キ シ ノ (東 区)		美	悟	ワ	義	枝	志	貫	次	司	セ	智	子	子	嘉	シ	ノ	様
		子																様

香典返しご寄付

高額寄付

香典返しご寄付

○下分 田中 宏之 様
十万円(亡父 久義様の香典返し)

皆様からのご寄付(香典返し等)の公表について、江北町社会福祉協議会ではご寄付をいただく際にご寄付される方に、公表してよいかのご意思をお伺いしております。

日本赤十字社 会費の御礼

日本赤十字社江北町分区では、令和4年5月より町民の皆さまに「日赤会費」のお願いいたしました。町民の皆さまからの会費(普通会費)及び、下記の方から個人会費をお預かりしました。お預かりした会費は日本赤十字社佐賀県支部へ送金させて頂きました。ありがとうございました。

<普通会費> 1,730,400 円 (1 世帯 600 円 × 世帯)

老人福祉センターのお花の植え替えをしていただきました

令和4年5月24日火曜日に女性ネットワークの会(会長:岸川富差子様)より江北町老人福祉センター玄関のお花の植え替えをしていただきました。

玄関の雰囲気が変わり、とても明るくなりました。老人福祉センターに来られた際には、皆さんご覧になってください。

女性ネットワークの会の皆様、お暑い中での植え替え作業、本当にありがとうございました。

